

食用きのこ



クリタケ

秋、広葉樹、ときに針葉樹の切り株、立ち枯れ、倒木などに群生か束生する。

特徴

- 傘：径3～10cm、初め半球形、のち丸山形から扁平に開く。表面は茶褐色か赤褐色。周辺に綿質の縁飾りがある。
- ひだ：黄白色から淡紫褐色となり、柄に直生～湾生、密。
- 柄：繊維質で上方は黄白色、下方は褐色。つばはない。

毒きのこ



ニガクリタケ

広葉樹や針葉樹の切り株や倒木に群生する。食用のクリタケと迷うが、噛むと味が苦いので区別される。誤食すると胃のむかつきから、激しいおう吐、下痢、腹痛などを起こす。

特徴

- 傘：径1～7cm、硫黄様の黄色。
- ひだ：はじめ黄色、のち帯オリーブ緑色～暗紫褐色となり、柄に湾生、密。
- 柄：繊維質で中空、傘と同色。

